令和７年度　事　業　報　告

［法人・北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎・グループホーム紅愛の運営］

・ 令和７年度当初は、北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎ともに利用者の定員割れが続いていたが、順調に入所者を確保し、また、通所（Ｂ型事業所）利用者も急増し、給付費は増収となっている。増収となった要因として、通所に他施設や相談事業所からの紹介もあったが、特に影響が大きかった理由は、夕張市内でＡ型事業所を運営していた２通所の事業所が倒産・廃止したため、その事業所を利用していた方が、当施設に入所・通所の利用につながったことが大きな要因となった。

・ 社会福祉法人が求められる地域共生社会実現の一助となるために、赤い羽根共同募金及び献血も昨年同様に実施した。

・ 国は、「障害者総合支援法」の「運営基準」に､令和７年度から「地域連携推進会議」等を年１回以上開催するよう義務づけたため、当法人（３施設）も、利用者、その家族、地域の関係者含む外部の構成員を選考し、３月２６日に会議及び施設見学を開催した。今後も定期的に会議を実施し、施設運営が閉鎖的にならないよう、地域関係者の外部の目を定期的に確保し、事業運営の透明性を高め、質の向上につなげていく。

［就労支援事業・利用者工賃実績］

就労継続支援Ｂ型事業は、日本全体に物価・資材・燃料等が高騰し経営を圧迫する中、さらに、６月に市内老人保健施設「虹ヶ丘」廃止や布おむつ離れによる保育所取引先減少により、令和７年度は減収となっている。
今後、新規事業所の開拓を進め、洗濯費用の単価アップなどの対応を強力に進めていく。
年間平均月額工賃４５，０００円以上となった。

［施設の改修］

・ 昨年導入した排雪利用型氷熱エネルギー活用システム設備導入工事（追加工事）及び雪山成形・チップ材工事を行った

・ 防犯対策・虐待防止・利用者の安全確保を目的とし、防犯カメラを施設内各所へ設置した。

・ 厨房内の備品等の修繕及びシンク破損のため交換を行った。

・ 冬季除雪対応のため、施設敷地内のマンホール・排水口周辺等の舗装工事を行った。

・ 居室の一部、床の変色・悪臭等、利用への衛生的観点から、居室を現状に戻すため整備工事を行った。

・ 施設の老朽化に伴い、トイレ屋外配管工事、漏水工事、洗面所混合栓交換など各所建物修繕等の工事を行った。

［北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎 利用者の状況と対応］

・ 北海道博愛舎は、就労支援Ｂ型の利用者が増員した。

・ ニュー北海道博愛舎は、令和７年３月末まで１０名の定員割れであったが、４月１日で３名博愛舎から移動し、

・ その後順調に３名の利用者が入所、１名退所されたが、前年と比較して増員となった。

・ グループホーム紅愛は、昨年１２月にＡ型事業所「ぱれっとふぁーむ」の廃止により、１名が地元に帰り退所となった。

・ 給付費全体としては、前年度と比較して約２，２３２万円の増額となった。

［行事実施状況］

年月	行　事　内　容
R7　6月	日赤献血 焼き肉パーティー
7月	夕張市農協青年部メロン贈呈
8月	定期健康診断 ふれあい祭り
9月	全道障がい者スポーツ大会（函館市）
10月	日赤献血 焼き鳥パーティー 赤い羽根共同募金 インフルエンザ予防接種 全国障がい者スポーツ大会（滋賀県）
12月	コロナワクチン接種　希望者 利用者忘年会
R8　1月	利用者カラオケ大会 利用者新年会
2月	定期健康診断 森農園「長芋」贈呈 避難訓練 不在者投票
3月	避難訓練（２回目）
その他	毎月第３水曜日　利用者誕生会 毎月　利用者理容日 毎月　訪問販売

［職員研修実施状況］

年月	研　修　内　容	参加数
R7　4月	主任職員研修	1名
5月	安全運転管理者講習	1名
6月	社会保険制度説明会	1名
7月	障害者職業生活相談員資格認定講習(ｵﾝﾗｲﾝ)	1名
	管理職研修	5名
	空知圏域職業事業所連絡会議	1名
	クリーニング師試験受講者のための研修	1名
8月	危険物取扱者保安講習	3名
9月	危険物安全協会研修	3名
	北海道身体障害授産施設連絡協議会職員研修	4名
	日本セルプクリーニング部会研修会	3名
10月	南空知圏域地域移行研修会	1名
	クリーニング師研修	1名
	身体障害者福祉施設職員研修会	1名
	集団指導及び感染症研修会（Zoom）	3名
R8　1月	クリーニング師研修第２型通信制（レポート）	1名
2月	サービス管理責任者研修（更新研修）（ｵﾝﾗｲﾝ）	1名
3月	虐待・身体拘束・感染症対策研修	全職員
	業務継続計画（ＢＣＰ）・避難確保計画研修会	全職員